

「現代幾何学への招待」正誤表 (2017. 12.4)

単純な誤植，スペルミス，漢字置き換えの不統一などは記しません．本質的と思われる間違いはご指摘いただければ幸いです．以下の修正箇所につきましては，佐賀大学の庄田敏宏氏にご指摘を感謝します．

1. p.7, §1.5 の 1 行目に極値と書いているが，正確には「測地線はエネルギー，および長さの一階微分が消える曲線ですが」とすべきです．
2. p.18, 下から 4 行目： $\langle F_{uu} + F_{vv}, F_u \rangle = 0 \Rightarrow \langle F_{uu} + F_{vv}, F_v \rangle = 0$
3. p.52：この比喻では車は平面を走っているものと考えています．
4. p.54, §8.3, 6 行目：微分記号は偏微分記号が正しい．
5. p.61, 図 9.1 の 3 行下の $\varepsilon_i, \varepsilon_j \Rightarrow \varepsilon_1, \varepsilon_2, \varepsilon_3$
6. p.74, §10.7 8 行目：Klingerberg \Rightarrow Klingenberg
7. p.79 下から 7 行目： $+k_l p_k \Rightarrow +p_l k_l$
8. p.83, 14 行目：微分記号は偏微分記号が正しい．
9. p.95, 下から 3 行目： $\omega^M \Rightarrow \omega$
10. p.113, 1 行目： $J_t(u(\tau, t)) \Rightarrow J_t(u(s, t))$